

## 第17回日本歯科色彩学会 総会・学術大会のご案内

大会長：花田晃治（明倫短期大学 学長）  
準備委員長：木暮ミカ（明倫短期大学 准教授）

第17回日本歯科色彩学会総会および学術大会を、下記のとおり開催いたします。  
会員多数のご参加およびご発表をお待ち申し上げます。

### ■開催概要

会期：2009年7月25日（土）～26日（日）

会場：7月25日（土）：新潟歴史博物館みなとぴあ（新潟県新潟市中央区柳島町2-10）

7月26日（日）：新潟市民プラザ（新潟市中央区西堀通6-866 NEXT21ビル）

※日歯生涯研修対象学会（生涯研修ICカードをご持参ください）

### ■開催日程

2009年7月25日（土）13:30～

常任理事会／理事会・評議員会

16:30-17:30 市民公開講座 津田紀代 先生（ポーラ文化研究所）

「お歯黒の文化史 ー近世から近代へー」

18:00-20:00 懇親会（場所：ぼるとCave d'Occi）

※地酒と地ワインの試飲会を企画しております

2009年7月26日（日）8:30～

総会／一般口演6題、ポスター9題（予定）

11:30-12:30 特別講演 鹿野 宏 先生（株式会社Lab）「デジタルカメラを使いこなす第一歩。」

### ■日本歯科色彩学会主催講習会

7月26日（日）13:30～

【必須Aコース】永澤 栄先生（松本歯科大学）

「光と色の見え方について ークベルクムンクセオリーとその限界ー」

【応用コース】堀田正人先生（朝日大学）

「歯質と審美歯科材料の光沢と透明性について」

### ■問合せ先

〒950-2086 新潟県新潟市西区真砂3-16-10 明倫短期大学

準備委員長：木暮ミカ（17th@jacd-dc.jp）

Tel 025-232-6351/Fax 025-232-6335

■大会ホームページ <http://jacd-dc.jp/17/>

## 総務関係報告

### 1. 会員数について (2009年5月現在)

一般会員：215人 名誉会員：4人 賛助会員：9社

### 2. 会費納入率 39% (前回 48%)

会費未納者数 132名

1年未納者数 49名 2年未納者数 43名 3年未納者数 31名 4年未納者数 9名

### 3. 会務

2007年11月13日：平成19年度第3回常任理事会 (昭和大学病院入院棟17階第2会議室)

11月13日：見学会委員会 (昭和大学病院入院棟17階第二会議室、ナナオ)

2008年1月21日：平成19年度第4回常任理事会 (昭和大学歯科病院2号棟第1会議室)

2月1日：歯科色彩学会 ホームページ リニューアル改訂

3月13日：編集委員会(上野)

3月31日：歯科の色彩 Vol14(1)発行

5月26日：平成20年度第一回常任理事会 (昭和大学歯科病院2号棟第1会議室)

6月15日：ニュースレター発行 (No45)

7月26-27日：第16回歯科色彩学会(じゅうろくプラザ)

7月26日：平成20年度第2回常任理事会 (じゅうろくプラザ)

7月26日：平成20年度理事・評議員会 (じゅうろくプラザ)

7月27日：平成20年度総会・学術大会 (じゅうろくプラザ)

9月30日：ニュースレター発行 (No46)

10月20日：平成20年度第3回常任理事会 (昭和大学病院入院棟17階第二会議室)

2009年1月17日：平成20年度第4回常任理事会 (東京歯科大学市川総合病院)

1月17日：見学会委員会

(東京歯科大学市川総合病院眼科 角膜センター・アイバンク、島崎潤先生)

2月14日：編集委員会(東京医科歯科大学1号館6階)

3月21日：編集委員会(飯田橋)

5月14日：平成21年度第一回常任理事会 (昭和大学歯科病院2号棟第1会議室)

## 日本歯科色彩学会 平成20年度 第4回常任理事会 議事録

日時：平成21年1月17日(土) 13:00~15:00

場所：東京歯科大学市川総合病院

出席：会長、池見、阪、東光、中澤、堀田、向山、勝海、木暮、片山伊、片山直、神津、生田、玉崗

欠席：星野、桃井、元吞

委任状：加藤、伊集院、桑田、宮崎、天笠、平井、細矢、橋口、和久本

### I. 開会

久光会長から開会の挨拶があった。

### II. 会長挨拶

久光会長から挨拶があった。

### III. 平成20年度第3回常任理事会議事録確認 (久光)

### IV. 報告事項

#### 1. 総務・会務報告

久光会長から、現会員数(212人)、会費未納者数(111人)、会費納入率(48%)との報告があった。

見学会(島崎先生)を会務報告に追加。

## 2. 財務報告

向山常任理事欠席により次回報告となった。

## 3. 編集委員会

池見副会長から報告があった。

「歯科の色彩」15巻については今現在5編予定しているとの事。

編集委員会を2月頃予定しているとの事。

## 4. ニュースレター委員会

片山監事から次回のニュースレターは今年5月頃発行予定。

カラーフォーラムについての報告があった

## 5. ホームページ委員会

元呑副会長欠席により次回の報告となった。

## 6. 講習会委員会

細矢副会長欠席により次回の報告となった。

## 7. 見学会委員会

中澤常任理事より、今日の講習会について報告があった。

場所：東京歯科大学市川総合病院眼科 角膜センター・アイバンク

講師：東京歯科大学眼科教授 島崎 潤先生

演題：「角膜移植と再生医療」

## 8. 優秀論文・一般発表優秀者選考委員会

片山直常任理事から報告があった。

## 9. 認定士委員会

阪常任理事から認定士の更新対象者は31名。

内訳は更新のアンケート希望18名、更新受理8名、更新を希望しない5名  
無回答8名。

また受理していない希望者と無回答の先生達に再度案内の葉書を発送するとの事。ニュースレターに一言でも認定士の更新について書いてもらいたいとの事。

## 10. 会則検討委員会

審議事項へ。

### 11. 第17回学術大会

木暮準備委員長から学術大会や特別講演についての報告があった。

### 12. その他

片山伊監事から色彩関連学会・研究会についての報告があった。

## V. 審議事項

### 1. 歯科色彩学会での二重投稿・発表について

堀田常任理事から二重投稿・発表について、報告があった。

二重投稿について以下のものは採用しない（案）

- ・対象、方法が基本的に同じで、結果・考察に新しいものがない。
- ・読者に新しい情報が与えられない。
- ・既報の論文を故意に引用していない。

二重発表について以下のものは採用しない（案）

- ・既に発表されたもの。
- ・歯科系学会以外での発表、特殊発表、国外での発表は問題とならない。

久光会長から国外の発表は自己申告を行えば、問題とならないのではと意見があがった。

池見副会長から虚偽の自己申告が判明した場合は除名処分などを検討するべきとの意見があがった。

2. 歯科色彩学会賞の規定について

桃井常任理事不在により次回の常任理事会で審議するとの事。

3. 次回開催日程

久光会長から次回の平成 21 年（2009 年）度第 1 回常任理事会は 2009 年 5 月 14 日（木）を予定するとの事。

会場は昭和大学で行う予定。

VI. 閉会

池見副会長から挨拶があった。

## 日本歯科色彩学会 平成 21 年度 第 1 回常任理事会 議事録(案)

日時：平成 21 年(2009 年) 5 月 14 日（木）13:30～16:30

場所：昭和大学歯科病院第一会議室

出席：会長、池見、元呑、桃井、東光、中澤、堀田、勝海、木暮、片山直、加藤、永井、天笠、  
齊藤、星野、玉崗

委任状：片山伊、桑田、末瀬、宮崎隆、宮崎真、神津、細矢、阪、橋口、和久本

I. 開会

池見副会長から開会の挨拶があった。

II. 会長挨拶

久光会長から挨拶があった。

III. 平成 20 年度第 4 回常任理事会議事録確認（星野）

IV. 報告事項

1. 総務・会務報告

東光常任理事から、現会員数(219 人)、会費未納者数(132 人)、会費納入率(39%)との報告があった。

2. 財務報告

向山常任理事欠席により次回の報告となった。

3. 編集委員会

池見副会長から報告があった。

「歯科の色彩」15 巻について報告があった。

- ・年号について
- ・受理日の明確化
- ・入会案内について
- ・印刷は Windows XP で
- ・投稿数について
- ・雑誌の見開きに宣伝を今回から掲載したとの事

4. ニュースレター委員会

片山監事欠席により久光会長からニュースレター記事についての報告があった。

- ・第 17 回総会学術の案内について、アメリカにおける色彩学会の案内について、光学四学会で木暮ミカ先生が優秀賞授賞についての原稿があった。

5. ホームページ委員会

木暮常任理事からホームページのサーバー料と利用統計についての報告があった。

6. 講習会委員会

細矢常任理事欠席により次回の報告となった。

7. 見学会委員会

中澤常任理事より、前回の東京歯科大学市川総合病院眼科での講習会についての報告があった。

また次回の見学会も予定していて追々報告していくとの事。

8. 優秀論文・一般発表優秀者選考委員会

桃井常任理事から報告があった。

- ・日本歯科色彩学会会則改定案について
- ・論文、発表評価シートと選考委員について

9. 認定士委員会

阪常任理事欠席により次回報告するとの事。

10. 会則検討委員会

堀田常任理事から二重投稿、二重発表についての報告があった。

二重投稿は雑誌（投稿規定）、二重発表は会長に一任してはどうかとの意見があがった。

11. 第17回学術大会

木暮準備委員長から学術大会について現状報告があった。

発表6題、ポスター9題を予定しているとの事

12. 第18回学術大会

天笠常任理事から学術大会については来年の7月24日を予定しているとの報告があった。

13. その他

V. 審議事項

1. 新役員および役員推薦について

久光会長から新役員名簿および理事推薦についての報告があった  
理事会で承認を得るとの事。

2. 新担当・委員会について

久光会長から報告があった。

委員会名変更：優秀論文・発表委員会→表彰選考委員会に変更するとの事。

3. 次回開催日程

次回は7月25日に開催。

4. その他

議事録を欠席の常任理事に送付するとの事

VI. 閉会

片山直副会長から挨拶があった。

## 各種委員会報告（委員会メンバーは次号で詳細に報告いたします。）

1. 編集委員会（池見宅司委員長）

編集委員長再任の命を受け、これまで2回にわたり行ってきた方針でよかったのかどうかを、反省を含めて考えております。各大学で異なると考えられる学位論文提出時期の問題や投稿数を多くしたいとの考えから、投稿論文提出期間を学会終了後から10月末日とした訳ですが、逆に期間が長いことの心理的な影響から、投稿数が少なくなったのではないかと考えるようになってしまいました。しかし、もう少し様子を見る必要があると思い、私の任期中は、同様の提出期間で行ってみようと考えております。どうぞ、皆様には是非とも論文投稿をお願いいたします。昨今の論文実績には査読の有無についての記載欄もあり、このことが重要視されるようになってまいりました。本学会誌は従前から査読を行っておりますので、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

再度、皆様の多数の投稿をお待ちしておりますのでお願い申し上げます。

## 2. ホームページ委員会（木暮ミカ委員長）

### 1. 報告事項

- 1) ニュースレターのデータ vol. 33 から 46 までをサーバーにアップしました。なお、vol135 と vol132 以前の前ものは残っていないため欠番としました。
- 2) 機関誌「歯科の色彩」については flash を使わずシンプルに原著論文のタイトルのみに変更しました。
- 3) メールアドレスを登録されている日本歯科色彩学会全会員用および役員・各種委員会連絡用メーリングリストを開設いたしました。

## 3. 講習会委員会（細矢由美子委員長）

### 2009年度講習会

必須コースA：永沢 栄先生（松本歯科大学）

光と色の見え方についてークベルカムンクセオリーとその限界―

応用コース：堀田正人先生（朝日大学歯学部）

「歯質と審美的材料の光沢と透過性について」

### 2010年度講習会

必須コースB：木暮ミカ先生（明倫短期大学）

応用コース：「デジカメ画像による色彩分析の理論と応用」をテーマに交渉中

## 4. 見学会委員会（中澤 章委員長）

平成 21 年 1 月 17 日(土)午後から、東京歯科大学市川総合病院眼科「角膜センター・アイバンクの見学と講演会」でした。講演要旨を別紙に掲載しております。

「角膜移植と再生医療」 東京歯科大学眼科教授 島崎 潤先生

## 5. 表彰選考委員会（桃井保子委員長）

去る 5 月 14 日(木)に開催された第 1 回常任理事会において、委員会の名称が「優秀論文・優秀発表選考委員会」から「表彰選考委員会」へ、スッキリした呼称に改まりました。現在、委員会では、優秀発表と優秀論文の選考に関する細則を策定中です。細則の設置には、現在の会則の一部改定が必要となりますので、本委員会と会則検討委員会とが連携をとりながら、本件を進めています。細則と会則改定は、今年度の新潟における総会で承認を得、本年度内の施行を目指しております。細則の内容については次号で詳しく報告いたします。また、新潟における平成 21 年度総会においては、昨年度岐阜で開催された第 16 回日本歯科色彩学会・学術大会における優秀発表、また、「歯科の色彩 Vol. 15, No. 1, 2009」に掲載の原著論文の中の優秀論文、について表彰式を行います。みなさま、ご出席の程よろしくお願いたします。

## 6. 認定士委員会（阪秀樹委員長）

今年度は日本歯科色彩学会認定士制度が発足して 7 年目となり、制度発足初年度に認定士登録された先生方は更新の年を迎えております。是非とも更新申請を行なういただき、引き続き日本歯科色彩学会でご活躍されることを期待しております。

また、認定士資格取得の申請も随時受け付けております。歯科色彩学をご研究されている先生方には、積極的にご参加頂きますようお願い申し上げます。

## 7. 会則検討委員会（堀田正人委員長）

### 1) 二重投稿・二重発表について

二重投稿、二重発表について日本歯科色彩学会における注意としてまとめることとなりました。おおよその原文(案)はできましたので、その内容の詳細についてさらに校正、検討後、お知らせできるとお思います。

### 2) 優秀論文・優秀発表について

会則検討委員会と優秀論文・優秀発表選考委員会の検討の結果、第 6 章 事業 第 28 条の『なお、各賞の推薦、応募、選考、表彰等に関する必要事項は、別に定める。』は『なお、各賞の応募、選考、表彰等に関する必要事項は、別に、優秀論文・優秀発表選考に関する細則に定める。』との改定案が示されました。

## メーリングリストを開設 (木暮ミカHP委員長)

メールアドレスを登録されている日本歯科色彩学会全会員用および役員・各種委員会連絡用メーリングリストを開設いたしました。

現在、全会員 228 名の内、メールアドレスを報告されている先生が 88 名しかいらっしゃいません。メールアドレスを登録されていない先生は是非ご登録ください。

### 【メーリングリストについて】

全会員用のメーリングリストに会員が直接投稿することはできません。投稿希望の方は [info@jacd-dc.jp](mailto:info@jacd-dc.jp) にご連絡ください。なお、各種委員会連絡用メーリングリストに関しましては、メンバーから直接メーリングリストに投稿することが可能となっております。

#### 1) 登録手続きの手順

メールアドレスの変更・メール配信停止につきましては、[info@jacd-dc.jp](mailto:info@jacd-dc.jp) にご連絡ください。

#### 2) メーリングリストの仕様について

メールサイズの上限は 3MB です。ただしサーバーによってはファイル添付メールの受信に制約がある場合もございますので、ファイル添付は必要な場合に限り行うようお願いいたします。

## アメリカで歯科色彩学会が発足

日本歯科色彩学会会員の皆様：

2008年、Society for Color and Appearance in Dentistryという組織が誕生しました。

clinical relevance for researchers & scientific relevance for cliniciansをテーマに創設された色と見えに関するinternationalな組織です。

2009年、7月17～18日の2日間、テキサス、ヒューストンで第1回大会が開催されます。いわゆる学会と呼ばれるものとは異なり、参加者は全員同じホテルに滞在し、昼は講習、実習と討論、夜は親睦をはかるディナーパーティーで過ごします。

皆様にはおなじみの、臨床界や色の研究で有名な方々のお名前が参加者リストに載っていました。会費は、他の国際学会と同等ですが、ホテル代（朝食付き）やテキサススタイルのディナーなどが会費に組み込まれています。皆様もカーボーイハット片手のテキサススタイルで御参加ください。

また、このsubjectに御興味をお持ちのAsia/Pacific地区の先生をご存知でしたら、添付いたしましたfileを御転送いただきたくお願い申し上げます。

日本を除くアジア/太平洋地域の為替レートが急落していますので、はるばるヒューストンまで出かけるのは経済的に厳しいものがありますが、アジアの知力を見せつけておく事も重要であると思います。大会案内です。

Dear Colleague: We are delighted to inform you about the creation of the Society for Color and Appearance in Dentistry (SCAD). The Society will link people from practice, research, industry, and dental educators interested in color and appearance in esthetic dentistry. The SCAD Executive Committee cordially invites you to become an Associate Member and to join us at the Society's inaugural meeting in Houston, Texas, on July 17-18, 2009.

The meeting will feature high-quality, evidence-based information on color-related issues in dentistry presented by many of the leaders in this field. The list of confirmed presenters is given below. Attendees will earn 12 credit hours of continuing education. We also invite you to submit an abstract for a poster presentation at the meeting (not a requirement for attendance). Poster submission form is available on our website ([www.scadent.org](http://www.scadent.org)).

To avoid late fees, please complete your registration with payment by March 31, 2009. Please note that attendance is limited and registrations will be granted on a first come, first serve basis. Registration & room packages are mandatory. Dental professionals from the Greater Houston area, please contact us at [info@scadent.org](mailto:info@scadent.org). We look forward to seeing you in Houston and promise you that you will have a lot of fun with old and new friends in a relaxed Texan atmosphere. Sincerely, Rade D. Paravina, D.D.S., M.S., Ph.D. President, Society for Color and Appearance in Dentistry

ご提供：細矢由美子先生

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻展開医療科学講座小児歯科学  
SCAD Councilor for Asia/Pacific Region

## 本学常任理事の木暮ミカ氏が受賞 「カラーフォーラム JAPAN 2008」において

2008年11月25日、26日、27日ー東京新宿区の工学院大学において、光学四学会「日本光学会（応用物理学会）、照明学会 日本色彩学会、日本写真学会」主催で、また映像情報メディア学会 画像電子学会 電子情報通信学会 日本画像学会が共催の「カラーフォーラム JAPAN 2008」が行われた。

カラーフォーラム Japan とは、国内の光学系の4つの学会が合同で開催する色彩をテーマとした主催、共催、協賛する学会で、いずれも多く多くの会員数を持つ大規模な学会であり、それらの学会から工学、物理学、心理学、医学、生理学、芸術学などの多彩な分野からそれぞれ著名な研究者が集まった。

片山伊九右衛門前会長も常連として発表していましたが、3日間にわたる多くの発表者の中から、日本歯科色彩学会常任理事の木暮ミカ先生が、演題「歯冠周囲色の違いが歯科補綴物製作時のカラーマッチングに及ぼす影響について」で「カラーフォーラム 2008 ベストプレゼンテーション賞」を受賞されました。

### 見学会を終えて

見学会委員会 中澤 章

昨年度の見学会は、平成21年1月17日(土)午後から、東京歯科大学市川総合病院眼科 角膜センター・アイバンクの見学と講演会でした。近年歯学部病院でも眼科が併設されることが多くなっていますが、当科はその先駆けとなった眼科で、角膜移植手術数が日本一の施設です。

当日は島崎教授にアイバンク内を案内していただき、実際の保存角膜や、再生医療の研究施設を見学しました。例年とは少し趣向を変えた内容でしたが、先生からは今後目覚ましい発展を遂げるであろう再生医療について、眼科での取り組みと歯科との連携について解説していただきました。角膜移植のビデオもありましたが、パンチングして、FGG(遊離歯肉移動術)、つまり規格化された歯周病のオペを見ているような印象を受けました。また今回は参加者の希望に合わせて、アンチエイジングに関する研究の動向や、老眼についても解説いただき、歯科関係者にとって大変有意義なお話でした。詳しくは下記の講演要旨をご参照ください。なお、翌18日付けの朝日新聞18面にも、角膜移植とアイバンクについて、市川病院での取り組みが詳しく掲載されましたので、併せてご覧いただくとさらに理解が深まると思います。

### 講演内容 「角膜移植と再生医療」

東京歯科大学眼科教授 島崎 潤先生

角膜は、眼球の最前面にある直径12ミリほどの膜で、障害を受けて透明性を失うと著しく視力が低下する。失明者の約10%が角膜疾患に起因するといわれている。高度の角膜疾患に対しては、角膜移植が行われており、技術的には完成に近づいているが、ドナー角膜の不足が大きな問題となっている。われわれは、アメリカのアイバンクと提携してドナー角膜を入手するシステムを構築するとともに、大学内にアイバンクを設立してドナーの確保、安全な供給、公平な分配をモットーに活動を続けて成果を上げてきている。

またアイバンク活動と並行して、再生医療を応用した人工角膜の開発にも力を入れている。角膜は、手術や観察が容易であること、表面の上皮細胞が増殖能力に富んでいること、上皮細胞の stem cells の存在部位が限局していること、などの理由から再生研究が進んでいる。角膜表面疾患の新しい治療法として、本人もしくは他人の輪部上皮細胞を採取して、約2週間かけて培養して上皮シートを作成し、これを移植する「培養上皮移植」が開発されている。更に、他人の組織を用いることで生じる拒絶反応のリスクを減らすために、自己の口腔粘膜より角膜上皮様のシートを作成して移植する「口腔粘膜上皮移植」も行われている。これらの新しい治療法によって、従来治すことのできなかった重症眼表面疾患の治療への道が拓かれつつあるが、今後さらに軌道に乗せるには、産婦人科・歯科などの他科領域、細胞・組織バンク、研究機関、関係法令の整備と、ビジネス界との連携が必要と考えられる。